



## データ交換・マスター管理編 (PTSファイル入出力 抜粋)

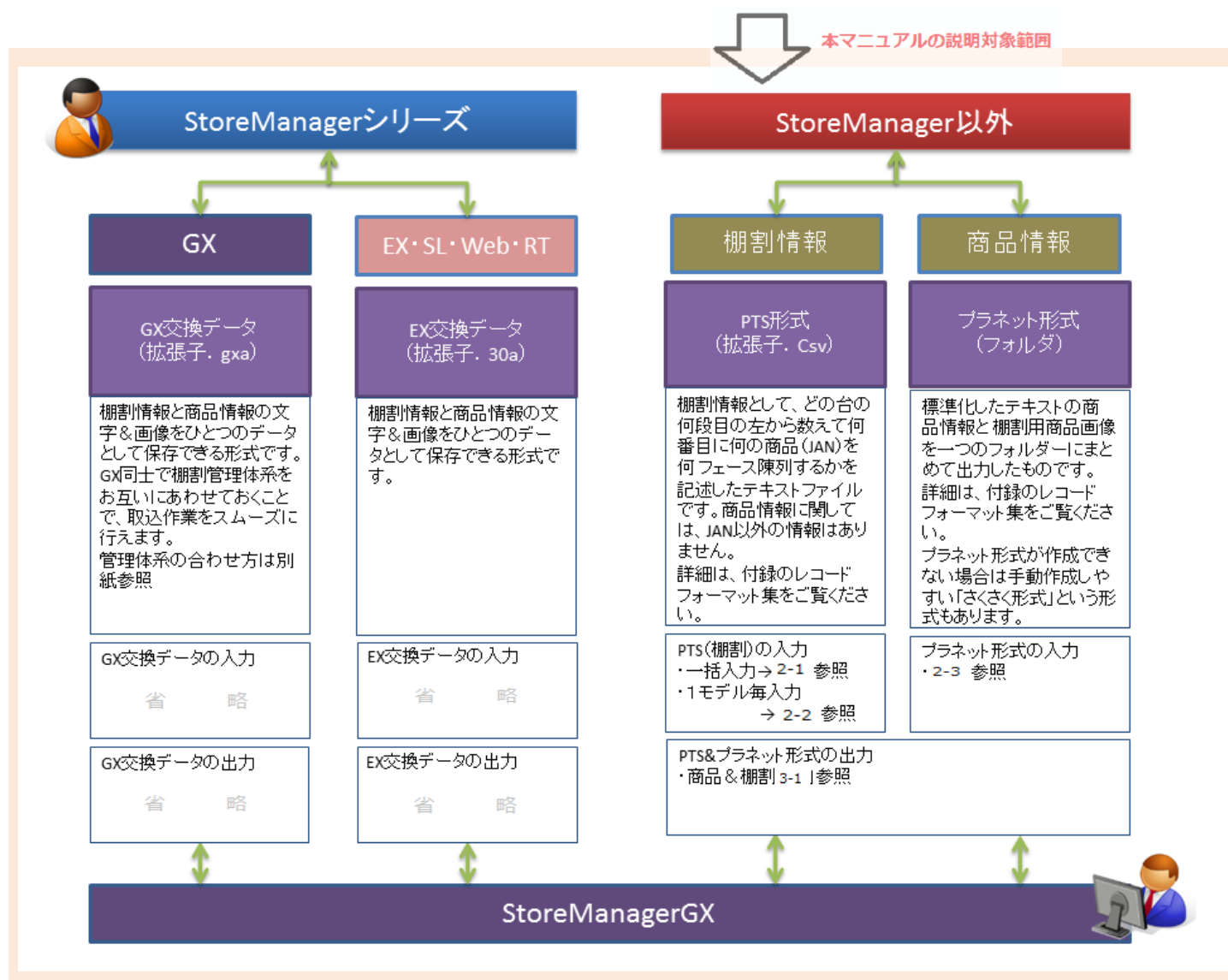
本マニュアルは、" StoreManagerGXデータ交換・マスター管理編 " から、PTSファイル  
びブラネットデータに関係した部分のみを抜粋したものです。StoreManager 以外の棚  
割ソフトとデータ交換する際に参考にしてください。

## 目次

1. 外部との棚割・商品情報の交換手続き .....	3
2. インポート .....	4
2-1 PTS（拡張子.csv）の一括インポート.....	4
2-2 モデル編集集中のPTSインポート.....	6
2-3 プラネットデータ（フォルダ） .....	7
3. エクスポート.....	8
3-1 PTS&プラネット形式データの出力 .....	8
☆ 本マニュアルご利用のご注意 ☆ .....	9

## 1. 外部との棚割・商品情報の交換手続き

外部の企業と棚割システムのデータ交換をする場合は、相手先が StoreManager シリーズとそれ以外の製品とでは、交換するデータ形式が異なります。下記を参照に入出力する形式を選択してください。



## 2. インポート

### 2-1 PTS (拡張子.csv) の一括インポート

外部から提供された複数の PTS ファイルから、棚割モデルをチェーンコードや売場コードを一度の操作でまとめて付け替えて作成することができます。

※本機能で取り込んだ棚割モデルは、同じ棚割モデル ID の直近の採用店舗などの情報を引き継ぎます。(内部データの交換データ入力では引き継がれません。)

①メイン画面のメイン画面の [モデル] - [インポート] - [外部データ] - [PTS] を選択します。

②入力したい PTS ファイルが存在するフォルダーを選択します。

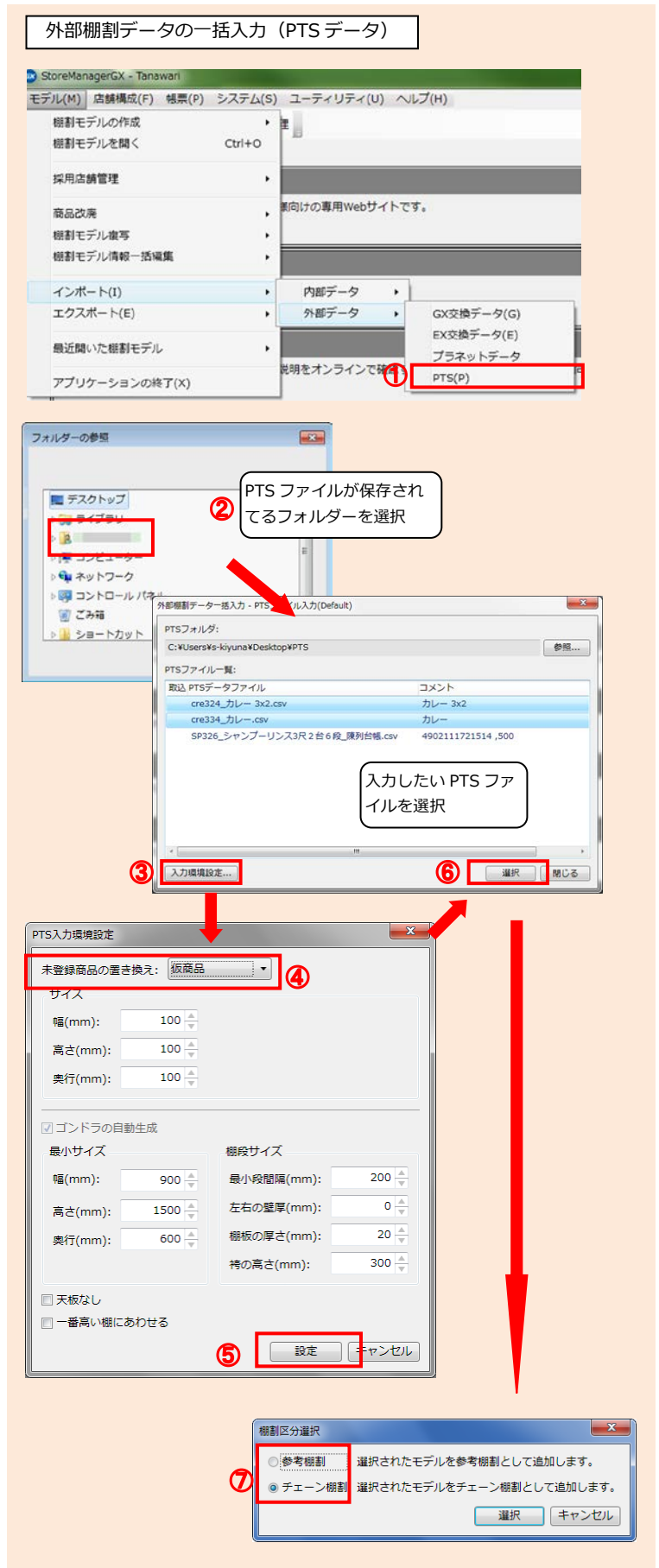
③ [入力環境設定] ボタンをクリックすると、[PTS 入力環境設定] ダイアログボックスが開きます。

④ [未登録商品の置き換え] に「仮商品」を選択します。

⑤ [設定] ボタンをクリックします。

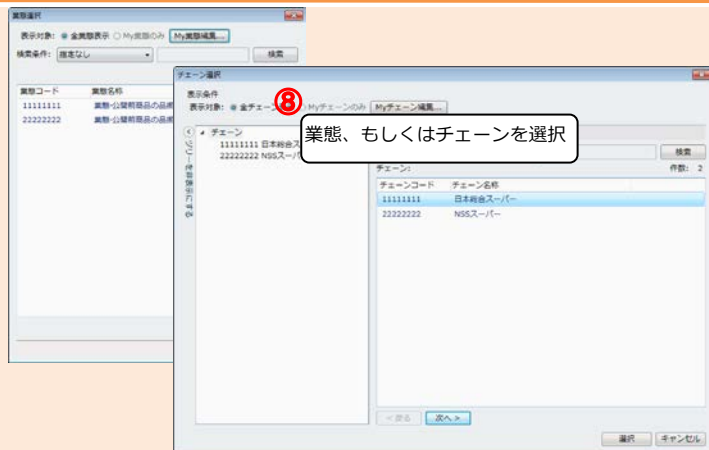
⑥入力したい PTS ファイルを選択し、[選択] ボタンをクリックします。

⑦棚割区分 (参考棚割/チェーン棚割) を選択します。

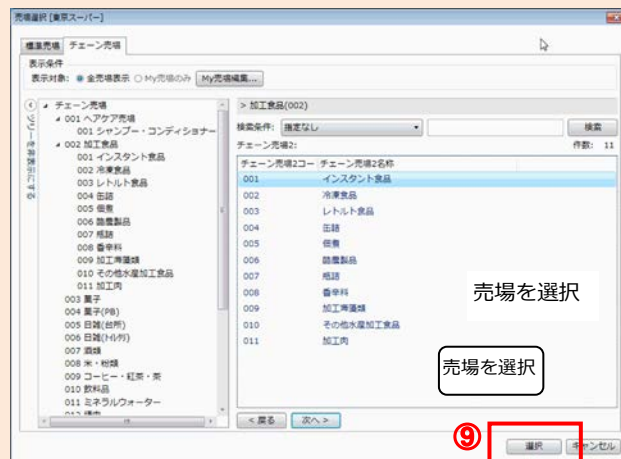


⑧ 棚割区分が「参考棚割」の場合〔業態選択〕画面が表示されるので、業態を選択します。

棚割区分が「チェーン棚割」の場合〔チェーン選択〕画面が表示されるので、チェーンを選択します。



⑨ 〔売場選択〕画面が表示されます。売場を選択します。

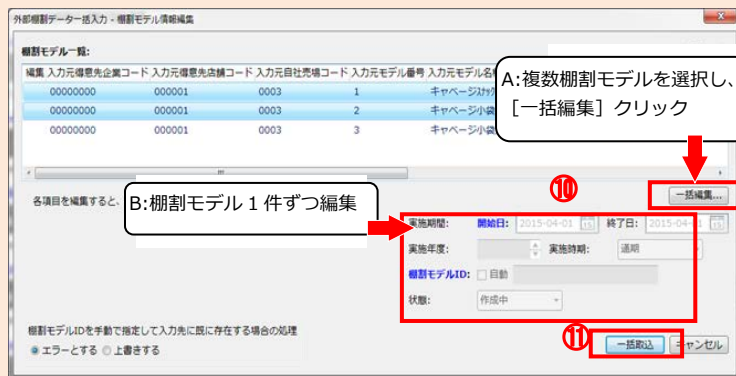


⑩ 外部棚割データ一括入力- 棚割モデル情報編集〕画面が表示されます。

編集する棚割モデルを指定して、開始日や棚割モデル ID などの各項目を編集します。

A: 複数の棚割モデルを一括で編集する場合  
複数の棚割モデルをキーボードの **shift** や **ctrl** を使い選択して、〔一括編集〕にて開始日や状態などをまとめて設定します。

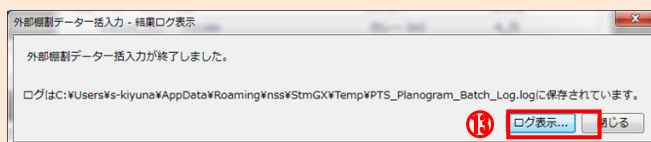
B: 棚割モデルを 1 件ずつ編集する場合  
棚割モデルを 1 件ずつ選択して、棚割モデル ID や開始日や状態などを繰り返し設定します。



⑪ 全ての棚割モデルの項目編集が終わったら、〔一括取込〕ボタンをクリックします。

⑫ [PTS 入力環境設定] にて未登録商品の置換えを「仮商品」に設定している場合、取込をする PTS ファイルに未登録商品が含まれていると、〔仮商品登録確認〕画面が表示されます。〔OK〕ボタンをクリックしてください。

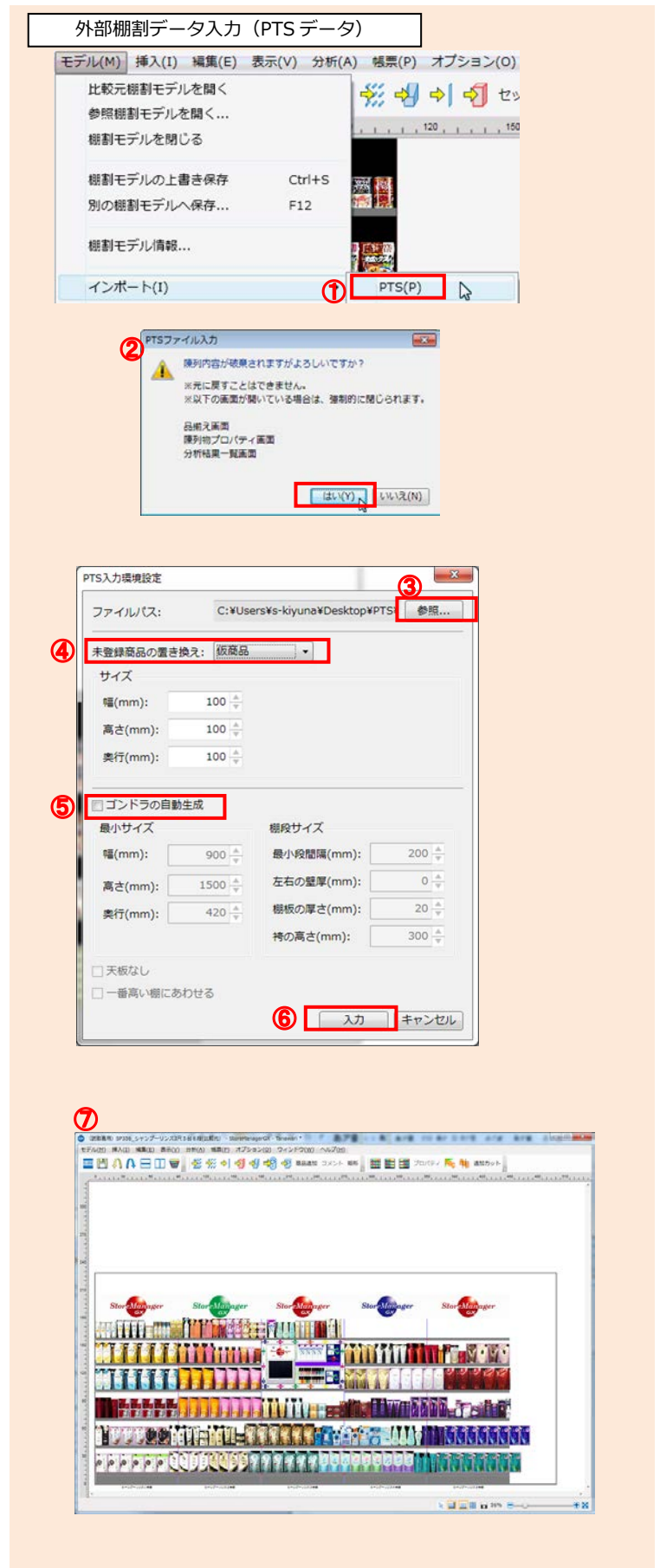
⑬ 編集した棚割モデル情報をもとに、PTS データが入力されます。入力が完了すると、〔結果ログ表示〕画面が表示されます。入力結果を確認する場合は、ログ表示ボタンをクリックします。



## 2-2 モデル編集中のPTSインポート

編集中の棚割モデルに PTS データを入力し、商品配置を再現することができます。

- ① [モデル] - [インポート] - [PTS] を選択します。
- ② 確認画面が表示されます。  
[はい] をクリックすると、[PTS 入力環境設定] 画面が表示されます。
- ③ [参照] ボタンをクリックして、入力する PTS ファイルを指定します。
- ④ [未登録商品の置き換え] に「仮商品」を選択します。
- ⑤ [ゴンドラ自動生成] を OFF にします。
- ⑥ [入力] ボタンをクリックすると PTS ファイルの入力が開始されます。
- ⑦ 棚割が再現されました。  
必要に応じて、はみ出しなどを修正してください。



## 2-3 プラネットデータ（フォルダ）

プラネットデータとは、異なる棚割ソフトで棚割用商品画像データを交換する為の共通形式です。

- ①メイン画面のメイン画面の [モデル] - [インポート] - [外部データ] - [プラネット] を選択します。

※ [マスター管理メイン] 画面の [インポート] - [外部データ] - [プラネット] からでも取込めます。

- ② [外部データ入力 - プラネット] 画面が表示されます。

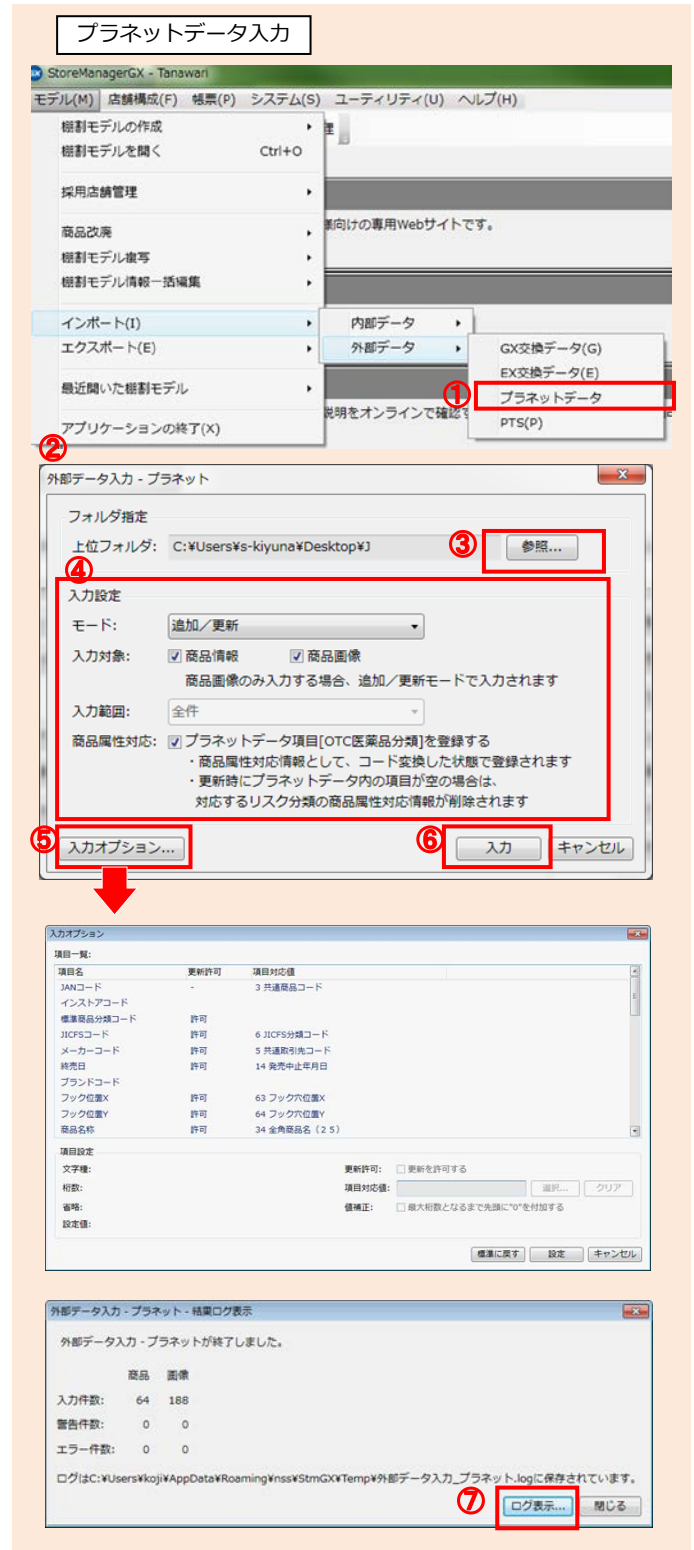
- ③ [参照] ボタンをクリックして、上位フォルダ (J のほか、E、U、K など) を選択します。

- ④入力設定を行います。

- ⑤ [入力オプション] ボタンをクリックします。  
[入力オプション] 画面では入力するプラネットデータファイルの項目を商品情報のどの項目に入力するか、更新を許可するかといったことを設定できます。

- ⑥ [入力] をクリックするとプラネットデータが入力されます。

- ⑦入力が完了すると、[結果ログ表示] 画面が表示されます。入力結果を確認する場合は、[ログ表示] ボタンをクリックします。



## 3. エクスポート


### 3-1 PTS&プラネット形式データの出力

①メイン画面の[モデル]-[エクスポート]-[PTS]を選択します。

②チェーンを選択し、[選択]ボタンをクリックします。

③〔棚割モデル検索〕画面が複数選択タイプで表示されますので、出力の対象となる棚割モデルを指定し、[選択]ボタンをクリックします。

④ [PTS 出力] 画面にて、[ファイルの種類] で出力するファイル形式を指定します。

 PTSデータには、Ver 1、2、3の3種類があります。Ver 3は Gondola 情報や奥行きまで含んでいます。Ver 2 は Gondola 情報を含んでいますが、Ver 1 は商品の陳列情報しかありません。

⑤ [関連商品情報を出力する (プラネット形式)] にチェックを入れます。

⑥ [出力] ボタンをクリックすると、出力先に PTS ファイルとプラネットデータの「J」フォルダ出力されます。



**PTS&プラネットデータの出力**

① PTS(P)

**PTSファイル出力**

② 選択

**棚割モデル検索画面**

③ 選択

④ Ver2形式

⑤ 関連商品情報を出力する (プラネット形式)

⑥ 出力

上位フォルダ

- メーカーコード
- 商品コード
  - 商品情報ファイル (Data.csv)
  - 商品正面画像情報ファイル (Data01.jpg)
  - 商品右面画像情報ファイル (Data02.jpg)
  - 商品上面画像情報ファイル (Data03.jpg)
  - 商品左面画像情報ファイル (Data04.jpg)
  - 商品裏面画像情報ファイル (Data05.jpg)
  - 商品下面画像情報ファイル (Data06.jpg)
- メーカーコード



## ☆ 本マニュアルご利用のご注意 ☆

- 本マニュアルの著作権は、日本総合システム株式会社にあります。
- 本マニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- 本マニュアルの内容は、将来予告なしに変更することがあります。

※*StoreManager*は日本総合システム株式会社の登録商標です。

本マニュアルは、” StoreManagerGXデータ交換・マスター管理編 ” から、PTSファイル及びプラネットデータに関係した部分のみを抜粋したものです。StoreManager 以外の棚割ソフトとデータ交換する際に参考にしてください。

**StoreManagerGX** データ交換・マスター管理編  
(PTSファイル入出力 抜粋)

2018年11月更新 第1版

発行者 日本総合システム株式会社  
東京都文京区後楽 1-7-27 後楽鹿島ビル